

うしな げ さ し が わ し ぜん 失われつつある慶佐次川の自然

慶佐次川の自然環境の現状と課題

● 赤土が流れ出し川を汚す

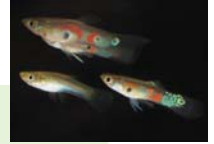
大雨がふると、畑などから赤土が流れ出し、川や海の水が赤く染まってしまう。赤土が何度も流れだすと、川や海にいる魚やエビなどの生き物がすめなくなります。

(赤い点線) : 赤土の流出が確認されたところ



● 外国産の生き物（外来種）が慶佐次川にすむ生き物を追い出す

慶佐次川には外国から持ち込まれた動物や植物がたくさんすみついています。外国産の生き物は、元々ここにすんでいた生き物のすみかを奪ってしまいます。



外来種：グッピー

● 汚れた水が流れ込む

牛や豚を飼っている畜舎や畑などから汚れた水が流れ出し、川の水が汚れてしまいます。



● 川の様子が変わってしまった

護岸をつくったり、川の流れをまっすぐにしたため、水際の植物がなくなったり、瀬や淵がなくなってしまう、生き物のすみかが少なくなっていました。



コンクリートでつくられた護岸

● 生き物がすみにくい川

慶佐次川には3つのダムがあります。そのために、川の生き物が移動しにくくなったり、すみかが少なくなっています。



慶佐次川にあるダムのひとつ

● マングローブに土砂がたまる

慶佐次川の河口にあるマングローブでは、土砂がたまり、少しずつ陸地化が進んでいます。陸地化が進むと、いずれマングローブが無くなってしまいます。



● 河口が砂で埋まってしまう

慶佐次川の河口には、海から打ち上げられる砂や上流から流れてくる土砂がたまっていきます。そのため、干潟にすむ生き物がいなくなったり、水の流れが悪くなって、洪水が起こったりしています。



まも げ さ し が わ し ぜん 守っていこう！ 慶佐次川の自然

自然が失われつつある慶佐次川ですが、まだ自然が残っているところもあり、貴重な生き物もすんでいます。こうした自然を残すため、赤土の流出や水の汚れをなくし、昔ながらの川の状態に戻していくことが大事です。



慶佐次川中流にある滝



自然のままの川の流れ



国指定天然記念物のマングローブ

慶佐次川でみられる貴重な生き物



マドモチウミナ



オキナワサナエ



コウシュンカズラ



ルリボウスハゼ



ノグチゲラ



ルリマダラシオマネキ